

■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト: CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

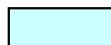
建物名称	ゆめマート永犬丸新築工事	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	----	-----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.3 /5		ふつう 
2 地球温暖化対策の推進	3.5 /5		ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	2.0 /5		がんばろう 
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう 
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 
		がんばろう 3 点未満 	

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)
1 循環型社会への貢献	スコア平均 3.3
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3 長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 Q2/ 3 対応性・更新性
スコア 3.3 スコア 3.6	スコア 3.3 スコア 3.6
再生クラッシャー(路盤材)、ビニル床タイル(床材)	・空調換気ダクトはガルバニウム鋼板採用 ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 ・階高3.9m以上 ・壁長さ比率0.09
2 地球温暖化対策の推進	スコア平均 3.5
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 4 節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水
スコア 3 LCCO2排出率=73%	スコア 3
3 豊かな自然環境の確保	スコア平均 2.0
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1 緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善
スコア 2 スコア 3	スコア 2 スコア 3
	<自由記述>
4 高齢社会への対応	スコア平均 3.0
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3 主な指標 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級
	スコア 0.82
	建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅:BEI値、住宅: -
	スコア 0.71
	外構緑化指數 建物緑化指數
	スコア 0.4 % スコア 0 %



: 入力欄

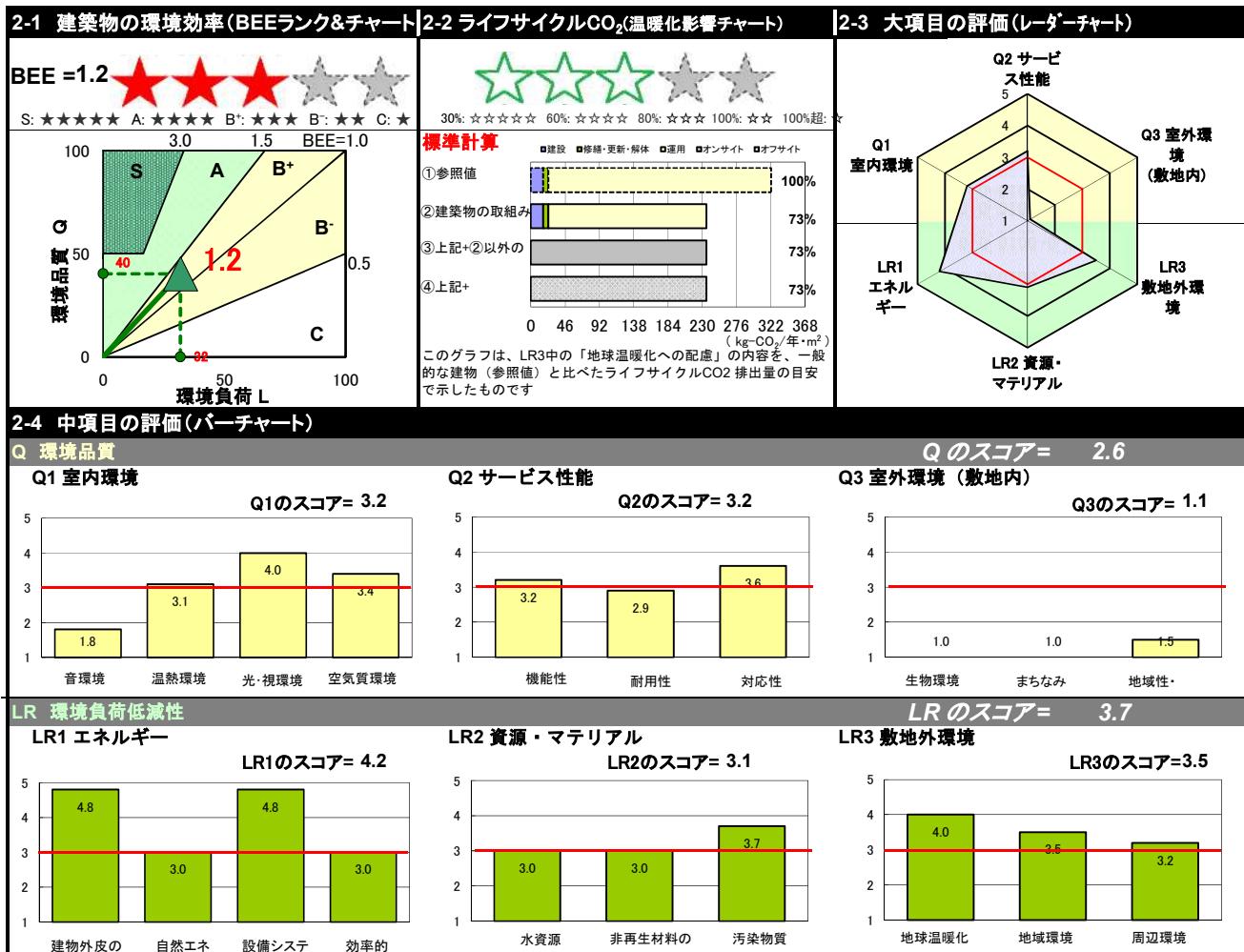


: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ゆめマート永犬丸新築工事	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市八幡西区八枝1丁目	構造	S造
用途地域	第二種居住地域	平均居住人員	230 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,680 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年11月26日
敷地面積	4,601 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	2,582 m ²	確認日	2018年11月27日
延床面積	2,421 m ²	確認者	定森淳一



3 設計上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 室内環境、サービス性能への配慮を行う。 敷地内外環境への配慮を行う。 エネルギー、資源、マテリアルの確保に努めている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
・室温制御への配慮を行う。・点滅、調光により照明制御を行う。	・天井高を確保し、広さ感に配慮・防汚性の高い建材の採用、掃除済し設置等、建物の維持管理に配慮。・耐用年数の長い、部品部材の採用に努めている。・階高の確保に加え、壁長さ比率にも配慮。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
・グラスウール断熱材の採用等、建物の熱負荷抑制に努めている。・LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている。	・リサイクル材の活用に努めている。・発泡材を用いた断熱材を採用していない。
Q3 室外環境 (敷地内)	LR3 敷地外環境
0	・省エネルギー性能を高め、LCCO ₂ 排出率の削減に努めている。・ガス設備の設置無し等、大気汚染防止に努めている。・チェックリスト、配慮事項の過半を満たす等、光害の抑制に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版 ゆめマート永大丸新築工事		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)						
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点 重み係数		評価点 重み係数		全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.40			3.2
1 音環境				1.8	0.15	-	-	1.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音				1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-	
2 溫熱環境				3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御				4.1	0.50	-	-	
1 室温	夏季26°C、冬季22°C			4.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性	集中管理コンローラーにより制御出来る			5.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				4.0	0.25	-	-	4.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50	-	-	
1 昼光率				3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-	
3.2 ゲレア対策				-	-	-	-	
1 昼光制御				3.0	-	3.0	-	
3.3 照度				3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御	照明点滅・調光制御により制御			5.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境				3.4	0.25	-	-	3.4
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	全館禁煙としている			5.0	1.00	-	-	
2 喫煙の制御				-	0.30	-	-	3.2
Q2 サービス性能				3.2	0.40	-	-	3.2
1 機能性				3.0	0.40	-	-	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	売場の天井高3.95m			5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の採用			4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				4.0	0.50	-	-	
掃除流し設置				-	0.30	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわねにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	
1 軟体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	5.0	0.30	-	-	3.6
		2 空間の形状・自由さ	5.0	0.60	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		5.0	0.40	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.30	3.0	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.40	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.10	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	1 生物環境の保全と創出		3.0	0.20	-	-	1.1
	2 まちなみ・景観への配慮		1.0	0.30	-	-	1.0
	3 地域性・アメニティへの配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.5	0.30	-	-	1.5
LR 建築物の環境負荷低減性	3.2 敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	
	LR1 エネルギー		2.0	0.50	-	-	
	1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.82	4.8	0.20	-	-	4.8
	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化	[BEI]/[BEI _m] = 0.71	4.8	0.50	-	-	4.8
	4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
LR2 資源・マテリアル	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
	1 水資源保護		-	0.30	-	-	3.1
	1.1 節水		3.0	0.20	-	-	3.0
2 非再生性資源の使用量削減	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.40	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.60	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.30	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		2.0	0.10	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシャン(路盤材)、ビニル床タイル(床材)	3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.30	-	-	
	1 消火剤		4.0	0.70	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	グラスウール、ロックウール等、発泡材を用いた断熱材を採用している	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境	LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
	1 地球温暖化への配慮	LCCO ₂ 排出率=73%	4.0	0.33	-	-	4.0
	2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1 大気汚染防止	ガス設備設置無し	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.2	0.33	-	-	3.2
	1 騒音		3.0	0.40	-	-	
	2 振動		3.0	1.00	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリスト、配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	